

令和8年度 第2回西伊豆町子ども・子育て会議（議事録）

- 1 開催日 令和8年10月13日（火）13:30～14:30
- 2 場 所 西伊豆町福祉センター2階会議室
- 3 出席者 山本直美委員、花田麻莉子委員、藤井美貴委員、深沢望委員、山本美生委員（園長）、齋藤雅子委員（園長）、山本昭代委員（副会長）、藪田栄和委員、菅谷みのり委員（福祉係）
星野町長（オブザーバー）
【事務局 佐野浩正 萩原宏実】

■ 町長挨拶 皆さん、こんにちは。大変ご多用のところ第2回子ども・子育て会議にご出席をいただきましてありがとうございます。今日の議題としては、子育て支援事業についてということで事務局の方から説明があるかというふうに思いますが、長らく子ども議会またこの会議でも子どもの遊具がということで部内で検討させていただいて、この後皆さんに金額など説明をさせていただこうかと思いますが、今、町の方では議会の方から委員会の報告で園と小学校などの複合施設は旧西中跡地がいいのではないかというふうなことが出てきておりますので、今、文教施設等整備委員会に諮っているところでございます。また、やたらな所に公園を設置しても、もし有事の際に逃げる場所の確保ということもあって今まではちょっと二の足を踏んでいたところもございしますが、そこの整地にちょっとここから見ると分かりますけど、津波避難タワー（築地）が昨年度中に完成をいたしました。その隣の土地が空いておりますので、そこに遊具を設置できればなというふうに思って今検討しております。前回の会議で大きなのがどうかというみたいな意見をいただきましたので、またその辺についても担当の方から説明をさせていただきますので、ぜひ皆さん忌憚のない御意見をいただければというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。

■副会長： 改めましてお願いいたします。議事についてはスムーズに行い1時間程度を目標に進めていきたいと思っておりますので御協力をお願いいたします。

議題(1)「子育て支援事業について」事務局から説明をお願いいたします。なお、議事ごとに質問の時間を設けますのでよろしくお願いいたします。

■萩原： 事務局から配布しました資料1 1ページになります、こちらを元に町の子育て支援についてご説明させていただきます。前回の会議が8月の中旬ということであまり資料の方は変わりはありませんが、8月以降のところで報告させていただきたいと思っております。

子育て支援センターの状況です。8年度のたんぽぽ通信ということで子育て支援センターのおたよりですけれども、前回8月13日に41人の登録者があって10月8日現在でも変わらず41人の方の登録がある状況になっています。表の方を見ていただいて、8月が136人、令和7年は75人ということで60人程度増えている状況になります。9月についてはあまり変わりがなく前年141人、今年は127人ということで14人程度が減少している状況になります。開所時間については変更がございません。簡単ですが続きまして、2ページ一時預かり保育事業になっています。こちらについては、8月が昨年7人だったのが4人になっています。9月については7年度が7人、8年度は3人ということで利用者数は減っている状況になります。受け入れ時間・利用料などは変更がありません。続いて3ページ乳児等通園支援事業（誰でも通園制度）になります。今年の4月6日から利用の認定申請を保護者の方からいただく受付を開始しまして、こども園での受け入れは5月12日から実施しています。6か月から3歳になる誕生日の前々日まで利用が可能。1人につき月10時間まで利用が可能で当町では保護者負担は無料ということでやらせていただいております。利用の状況・登録状況になりますけれども、保護者・登録児童数いずれも9月末で5人になります。0歳児クラスが3人、2歳児クラスのついては2人。利用の状況です。5月から9月まで0歳児クラスが24時間、2歳児クラスが30時間の利用となっております。続きまして4ページの放課後児童クラブ（ゆうゆうキッズクラブ）事業になります。令和8年9月末時点の登録児童数は48人。前年比12人増。4月からの平日最大利用児童数は24人。前年比9人増で、夏休み期間中8月26日まででしたけれども最大28人、昨年比4人増の利用がありました。平日にはスクールバスにより児童クラブまでお送りをしています。こちらは令和6年度から実施しています。支援員は前回の会議でもご案内しましたが、低学年の利用者が多いため基本3人体制で対応し、長期休暇中は4人の支援員を基本として運営しています。今後の予定ですが、ハロウィンが近いので教室を飾り付けして雰囲気作りをしたり、冬休みの利用案内を11月に実施予定となっています。児童クラブの利用状況ですが、登録児童数が今年48人、昨年は36人と一番下の表にありますけれども、12人の登録児童数が増えたことによって8月ですと293人だった昨年に対して今年は400人。9月は190人だったのが298人の利用ということでだいぶ需要がある状況になっています。こういう点を踏まえて事故だとか怪我の防止というところも懸念があったので、支援員さんを増員して対応しているような状況になります。簡単ですが、子育て支援事業については以上になります。

■副会長：事務局からの説明が終わりました。何か御意見・御質問があったらと

と思いますがいかがでしょうか。子どもたちの絶対数が少ないけれどもいろんな場所での利用状況が高まっているということは、それだけ家庭にも反映されているところなのかなと思います。私も児童クラブの支援員をさせていただいていますけれど、夏休みは特にとても元気で。では無ければ、議題(2)に移らせていただきます。

議題(2)遊具設置について、事務局から説明をお願いいたします。

■萩 原： 議題(2)遊具設置については、お配りした資料5 ページ右上「資料2」というものを基に御説明させていただきます。以前の会議で遊具設置についてお話をさせていただきましたが、今回は設置する遊具について御意見を伺いたいと思います。現在事務局では、「資料2」のページ5 ページのところに（案）としまして、複合遊具1基（対象：幼児3歳～6歳未就学児）、4人用ブランコ1基こちらについては立ち入り制限、近づかないようにするため周囲を囲うものを含むということで（対象：幼児3歳～6歳未就学児）遊具の設置を検討しています。遊具については、資料の6 ページですけれども、複合遊具ということで物が付いているわけですが、選択した理由としましては、・体力をつける（体を動かす能力を育む）・運動スキル（運動するときの技術をつける）・最終的に運動能力の向上。そのためには4つの運動スキルが必要ということで、・移動する運動スキル（歩く、走る、這う、くぐる、飛ぶ）・バランスをとる運動スキル（立つ、渡る、乗る）・その場での運動スキル（ぶら下がる、押す、引く）・操作する運動スキル（打つ、投げる、蹴る、回す、叩く）そういった能力を養えると思われる遊具を選定しております。実際体を動かす10の体力というのがこの6 ページに記載されていますけれども、これを整えることで最終的には運動能力向上。筋力・瞬発力・持久力とかですかね、その他スピードまで10。この体力がつくということで複合遊具の方を（案）として選定させていただきました。選定ですが、複合遊具は3つです。資料の方は7 ページになりますけれども、ディノワールドという遊具を選定してまして、ディノワールドの4と12と13ということで、この後それぞれの遊具の説明をしていきますけれども、こちらのディノワールドというものは、基本材質は支柱がアルミ、床はゴムコーティングデッキあまり当たっても痛くないというか、転んでも痛くない。パネルについてもちょっと固くても痛くない程度のポリエチレンというのをベースにそれぞれ作ってあるようなものになります。下のブランコについては、ステンレス4人乗りということで高さが2mのものをお示しさせていただきます。こちらについては周りの安全柵を含めてステンレス素材、座面はゴムということで予定しております。資料の方続いて8 ページですね。A4の横で8 ページ、右上にディノワールド4と記載してある遊具になりますが、先ほどこの複合遊具で色ん

な能力が向上して最終的には運動能力がある程度高まって成長に繋がれるということを意識する中で、こちらについては、左の図面の方からちょっと吹き出しで文字が書いてあるところなんですけれども、FRP恐竜化石ブロックということでこういう穴の開いたところを手を使いながら上り下りするということができたり、その上を見ていただくと吊り輪雲梯ということで雲梯ができる。その奥がネット渡りですね。その右側の方にいきまして図面の真ん中下、恐竜絵合わせパネル・地層パネル渡りということでこの辺もつたって上れるとか、その年齢・育ちによって色んな自分の遊びができる。成長を重ねるごとに新しい遊び場にチャレンジできる。動線はその子が好きなように動けるというものを選定しています。こちらにはネットトンネルだったり、ツタ上り。前回の会議で曲がった滑り台ですか、ローラー滑り台というかご意見ありました。ということでイメージよりかはちょっと可愛い感じかも知れないですけど、滑り台も入れてある、トンネルスライダーというものになっています。9ページについてもこれと同じ商品が載っていますけれどもちょっとカタログの作り方が違うぐらいな感じで捉えていただければと思います。こちらの規模感なんですけど、3 m60 の8 m10 高さが 3.3 m。ちょっとそちらのホワイトボードに書きましたけど、今、副会長と町長が座っているテーブルの長さが3 m60、ここの長さが4 m50 です。この製品が3 m60 なので幅はこれくらいになると思います。8 m10 なのでこれが2枚分くらい、ちょっと大きく言い過ぎかも知れないですけど、がこの遊具。高さは 3.3mでこの緑のテープが2 mです。この倍ぐらい、かなり大きな複合遊具とイメージしていただければ良いかなと思います。こちらについては、遊具そのもので1,700 万ぐらいかかる。最初去年のカタログで私見ていたんですけども最近事業者さんに確認したら価格高騰の煽りを受けてここまで上がったと言っても、100 万とか200 万が一気に上がっているような世界です。けれどもこの遊具を今回ご案内させていただきたいと思います。続いてお願いします。10 ページになります。こちらについては先ほどのように恐竜のどこどこを登ってとか記載がないですけどもちょっと見ていただいて、トンネルをくぐれるとか、先ほどの恐竜の骨のところを伝い歩きできるとか、ネットのローラーをくぐれるとか階段上り下りとか、トンネルももちろんありますしツタ上りもあるものになっております。こちらのサイズ感については4 m50 なのでちょうどこの長さと5 m70 なのでこの端からその端くらいまでの大きさになるかと思います。高さが 3.5mですね。ですのでこの天井よりかは高い、やっぱりこれもかなり大きいものになっています。こちらについては、本体の価格だけで1,600 万円ほど。実際ですね、設置までした場合なんですけど3,140 万ぐらい。ごめんなさい、先ほど

設置費込みの金額を言いませんでしたけど、さっきのディノワールド4
というので3,350万円ほど。ちょっとざっくりですけど。続いて11ペ
ージの右上にディノワールド13と書いてあるものですが、これは
滑り台がメインかなというふうにも捉えられるんですけど、図面の左
からマグマライダーということで滑り台。FRP木の実太鼓というこ
とで太鼓ですね。その下がルーレット、回すとかができる。ボーンス
テップということで飛び跳ねて次へ行けますという感じですね。マ
グマリングというのが中の赤いやつで上り下りの能力が付く。ネッ
トデッキで不安定な所での体感トレーニングもできる。4段円柱ス
テップ。恐竜絵合わせパネルですね。上の方に行ってウェーブツタ
上りだとか恐竜化石ライダー、段差パネル、裏の方にボーントラ
スということで上り下りができるものだったりが付いてます。上
の方にはこういうネットの囲まれた所で子どもサイズだと1人か
2人入るような状況になろうかと思いますが、こういったものが付
いているというものになりまして、こちら大きき的には3m70、
この机幅と長さが10mなので、ここの2枚分ぐらいはありませ
ん。それに1m足すぐらい、かなり横長のもの。高さが4m50な
のでこれが2つよりもちょっと高いものになっています。こちら
は遊具だけで1,925万円。工事設置まで行くと3,735万円ほど。
次にいかせてもらって、12ページにブランコ。このブランコの
ところ、さっきの資料よりか簡単になっちゃいますけど、右下の
青で囲ってあるものですね。ステンレス4人乗りブランコという
ことで高さが2m、これも幼児の3歳～6歳向けということで2
mというものになっているんですけど、この4人掛けのブラン
コと周りを囲むもの、税抜きで、先ほどの遊具は税込みの数字
で言ってますけど、税抜きでブランコが105万円、安全柵は78
万円というかたちになっていて、事務局の今の案は幼児3歳～
6歳までということで選定をさせてもらっています。他の自治
体さんで例えば、そういうふうに設けた時に実際小学生が遊び
に来ちゃってというケースもあるみたいで、ブランコについて
は2mだとその子たちが低いので、手を伸ばしちゃって2mの
支柱を掴むらしいんですね。そうするとそれだと低いと危険だ
という意見もあるらしくて、場合によってはこのもう1個上
の2m50になるのかなと思うんですけど、そういうブランコも
考える必要があるのかというのがちょっとあります。ブランコ
の設置費用を含めたもの、この一体で設置を含めると509万
円くらいかかります。

■〇〇委員： でもこれだと6歳までですよ。子育て会議は小学生じゃないですか。
もうちょっと大きい子向け、そういう遊び場を作ってほしいだと、それ
だとまたちょっと話が違う。

■町長： ブランコは大きい子のにしようか。実はあとね、ターザンみたいなや

つが欲しいと言われてたので、それも入れたいよねという話もしているんですけど、何しろ設置費用が高いんでこれは何とかならんものかと。

■〇〇委員： 対象年齢を上げるともっと高いんですか、遊具って。

■町 長： 大きくなりますからね。

■萩 原： そうですね。

■町 長： だからターザンのやつを入れるためには、設置費用が軽まればその軽まった費用で入れられるかなとかというのは思っではいるんだけど、入ってもスペース的に3つぐらいがギリギリじゃないかとは思います。まあ、要はこんだけかかるということですね。複合遊具で3,000万、ブランコで約1,000万…

■萩 原： ブランコで510万、複合遊具が3,000、高いのだと3,700万、あとは町で着けると事故があった時の責任問題というのが来るので、遊び場の注意事項みないなものを示す必要があるんで、立て看板を別に作る必要があるなというのが、それもある程度のお金がかかると。

■〇〇委員： 手書きじゃダメなんですか。

■萩 原： 手書きですね、上塗りしてくればいいのかもしいですけど。あとは、ちょっと資料の続きを簡単に説明させてください。13ページなんですけれども、右下に遊具の維持管理についてということで、こちらのカタログはジャクエツさんというメーカーのものを使用させてもらってしまして、遊具の使用年数を次のように考えておりますというのが、右の表になっています。ただ、このカッコ書きで標準使用年数は使用頻度や管理、立地条件により前後するため製品の保証年数ではありませんというのがまず大前提にあるんですけど、なので目安としてという言い方がいいのかなと思うんですけど、先ほどご案内した通りアルミ製品です、複合遊具が。これだと標準使用年数は20年程度行けるんじゃないかと。ステンレス製遊具だと20年程度、こちらはブランコになりますね。ただ、その右に消耗品交換時期というのがあって、ブランコのペアリング回転軸が5年。その下の樹脂ロープ、複合遊具に入ってくるようなものですね、その辺が5年ということで、どうしても何年か経つと維持管理ということで部分補修でもきつと、こども園さんでも今、ジャクエツさん入ってますよね。何十万か数年に1回来ちゃう。

■町 長： 伊豆海の遊具が今20年目ぐらいでしたっけ。だいたいそんなもんですよね。大分がたが来ている。

■齋藤園長： そうですね。

■山本園長： ほぼ削っちゃいました。使えない所は直せないようにできているので少しずつ撤去して、使える遊具にしてしまっていて使っているという感じなので。

■萩 原： あとは点検代とか年に1回点検とか、今の他の遊具もそうなんですけ

ど点検している。1回じゃないですね、3回とか、ものによってなんですけどしているんで、そういう風にコストがかかっている状況にあります。これは現場についてる写真なんですけど、一番後ろが伊豆市の狩野川記念公園さんにこのディノワールドという遊具が同じようについてますけど、こっちの方がちょっとかわいいサイズかなと思います。狩野川さんの方は。これよりも立派なやつが計画上はしておりまして、皆さんにご意見を伺いたいところになっています。

■町 長： 最終的には、園が向こうに行けば園で遊べるからねと。

■〇〇委員： その場所で遊んで、手を洗ったりするのは小学校に行かなきゃいけないくて、トイレを使えるところは付近には無いの？

■町 長： トイレは無いけど水道ぐらいいは付けないといけないと思います。

■〇〇委員： ああ、そうなんですね。

■萩 原： ですね。

■〇〇委員： トイレは、、

■町 長： トイレはさすがに。トイレはほんと高いよ。最近のトイレはびっくりするぐらい、家1軒建つんじゃないかと思う。今、はんばたで造っているトイレ、隣のあれ1億です。

■〇〇委員： えー！

■町 長： 宇久須の港に5年ぐらい前に建ったのがあれが3,000万～4,000万ぐらい。

■山本園長： なんか田子の港公園にペンギンみたいな水道の。ああいうのが。

■町 長： 一応その程度のを造らないとまずいよねとは思っています。やっぱり手を洗わないと。

■〇〇委員： 水がないとちょっと行かない。

■〇〇委員： 小学校に行って洗うんじゃないですか。

■〇〇委員： 小学校まで行くのはちょっと。

■萩 原： でも近いは近いですね。

■副 会 長： 行けないことはないよね。

■〇〇委員： 行けないことはない。

■萩 原： 手洗いだと200mぐらいですかね、まだ遠いですかね。

■町 長： 200mぐらいだね。

■萩 原： ですよ。

■副 会 長： 道を隔てて行く感じ。

■〇〇委員： 仁科は行かないです。

■町 長： 買い物ついでに。

■〇〇委員： 私ほんとに見学会へ行くまで行ったことなかったですもん。

■町 長： あ、そうなんだ。

■〇〇委員： 小学校がどこにあるかも知らない。

- 〇〇委員： その公園に行くには駐車場がない。
- 町 長： 津波避難タワーの下が広い空洞があるので、そこに停めてくれば。なんかあったらすぐに逃げれる建物が隣りのあるんでそこを選定している感じ。だからもし揺れたらすぐにそこを登ればという。
- 〇〇委員： その3歳～6歳児が対象なので、こんなにでかくなくてもいいんじゃない。
- 萩 原： て、捉えるのか、冒頭でお話ししたこの資料の6ページ、この複合遊具の育つ、子の育つ部分をどう考えるか。この時期にこれをつけることによって、ここに記載されてる体を動かす能力とか、4つの運動スキルが整います。
- 〇〇委員： 整わない。
- 町 長： それを言い始めたらいらないよねって話になるからね。
- 副 会 長： 屋外に置いてあるので、3歳～6歳と限定してもみんな使うと思います。
- 町 長： 別に使ってもいいんじゃないですか。サイズが合わない人は滑り台に入れないぐらいの話で、あくまでも目安としては。
- 〇〇委員： 下はコンクリ？
- 萩 原： 今のところは、今の状態。ただ、例えばトンネルスライダーというか、そういうものだったり、なんかちょっと飛び跳ねて降りるとかというところの下には、四方のゴムマットみたいなものを置く必要があるかなと。というのは、やっぱり安全上そこになかったから足を捻ってケガをしたとかというのは全国でもそういうのはあるみたいなので、そういうところは。
- 副 会 長： 基本的には3歳～6歳だったら親が連れて行きますよ。見ている。
- 町 長： ただ、結局そのままにしておくで草ボーボーになると思いますよ。だから、個人的には人工芝に全部してしまった方が楽かなと思うんですけど。草刈りの費用も馬鹿にならないから。毎年それをずっとかけてくぐらいだったら1回敷いてしまえば生えては来ないので。そもそも、草刈りやってくれますってやらないでしょ？
- 山本園長： 園は先生たちが毎日、草取りをやってくれていたののできれいなわけで。
- 町 長： 草ボーボーだと誰も行かなくなる。
- 〇〇委員： 確かに。
- 山本園長： 猫がほら、今、犬が来てあれしていくじゃ。
- 萩 原： そういう意味では、その看板にそういう文字も。犬の糞とかというトラブルにはなりかねない。書く必要があるかと。
- 〇〇委員： こういうのってことですよね。
- 萩 原： そうですね。
- 〇〇委員： 小学校に造ればいい。

- 副会長： ただ3歳～6歳のわりには、なんかすごい高いというイメージが高さがあるような気がします。
- 萩原： そうですね。
- 副会長： かなり高さがある。これはなんか違う場所で。
- 萩原： そうですね。高さは確かに低い物でも最初にご案内したのが3 m30、一番最後が4 m50あるので、6歳ぐらいになると今度は高さもなんか上ると気持ちいいというか、ありますよね。危険かどうかという話になるとまた別問題ですけど。育つ中で視点が高くなるというのは普通のことなのかなと思うので。
- 〇〇委員： 仁科小の光の山。
- 町長： 光の山？光の山は高いでしょ。
- 萩原： 6・7 mあるんじゃないですか。
- 齋藤園長： ねえ、そのぐらいあったかな。滑り台も2台ある。
- 副会長： どうなんでしょう。お金のことは別に。
- 〇〇委員： いくらまでというの。町的にはいくらまでというのですか。
- 町長： ここまで来たら、皆さんがやれというならやるしかない。再三子ども議会で質問が来るしね、「公園が欲しい。公園が欲しい。」
- 〇〇委員： でも、このなんていうだろう。こういう感じの公園じゃないです。
- 〇〇委員： 小学生はね。
- 〇〇委員： 別にこんな大々的な感じで欲しいといったわけじゃないんで。
- 町長： 木に登ってどうのとかね。まっ、人それぞれなんで感覚違いますから。ただの原っぱでいいんだったら学校のグラウンドで遊べばいいじゃんという話なんですけど。
- 〇〇委員： まあ、そうですけどね。
- 町長： いちいち公園に入る必要もないし、うちの場合はどっかの市や区みたいに学校の開いていない日は門が閉まっていて誰も入れさせないとかということはしていないかな。逆に普通の遊具は学校にあるでしょという話で、学校にないのを設置をしてあげないと意味がないので。だから小学生は仁科小で遊べばいいし。あれ、仁科の園って入れるんですか。
- 山本園長： 入れます。
- 町長： 伊豆海は普通に入れますよね。
- 山本園長： それで遊んでいただければいいのかなと思います。
- 〇〇委員： いいんですか。
- 山本園長： いいんです。よく遊んでくれていますよね。花田さんちはお休みの日に来てくれて。
- 〇〇委員： これは好きですけど、これじゃなくても全然〇〇（聞き取り不可）遊べますから。
- 町長： みんながそれでいいよと言えば、うちは作らなくて済む。

- 〇〇委員： 保育園がどうなるかによるわけじゃないですか。ちょっと。ねえ。
- 山本園長： 園ができれば新しい園にほら。
- 〇〇委員： そそそ、そっちに持って行ってほしいと思うから。
- 町 長： 持って行ってほしいって、逆に向こうだと園庭を作るたぶんスペースがない可能性があるんで、小と一緒にになるから。だったら先に作っておいて、あそこの近くですよと言え、園はガラガラ連れて行けば、なんかあったら登れるし。
- 〇〇委員： どうですか、小さいお子さんがいる家庭は。
- 〇〇委員： もっと年齢が上の子たちも遊べるものだったら、いいんじゃないですか。
- 〇〇委員： でも遊べないことは無い。
- 町 長： 遊べないことは無い。要はね、サイズをくくらないといけないのでこうやって書いてあるだけの話で、要は6歳～12歳とかというと滑り台の距離が長くなってますとかなんだけど、そこを3歳から入れてしまうとこんな小さい時にこれをやらせるのは危ないというクレームがあるから、3～6・6～12とかという区分けがしてある。だからその程度の話です。
- 副 会 長： あればあったら利用はするけど、無ければできないので利用はしない、そんな感じもある。
- 〇〇委員： 園や学校に行かないよね、それじゃあ。
- 副 会 長： 園の中に〇〇（聞き取り不可）よってもあえてここにという意見も出ているところもありますけど。
- 〇〇委員： そっちがちょっとなんか方向性が決まらないう。そっちにないというんだったら、それは欲しいよねという感じで。〇〇〇〇（聞き取り不可）登って逃げろというんだたら。
- 町 長： いや、登って逃げろはどこに行っても登って逃げろですから。
- 〇〇委員： そうなんですけど。結局またその問題が。
- 町 長： 園の屋上に園庭がない時に登って行けるので、そこは分かってもらわないと。ここだと登って逃げられるけど、園の園庭にいたら登って逃げられるんじゃないというほど高さは変わらないから。
- 〇〇委員： そういう意味じゃ高台じゃないというか。
- 町 長： たぶん次の園の想定が高台ではない。
- 〇〇委員： ではない。そそそ、それも承知なんですけど。
- 町 長： そこはどこにあっても条件は同じ。
- 萩 原： ちなみにですね、令和7年4月2日から令和8年4月1日までの町内の子供の数、令和8年5月か6月ぐらいの調べのやつなんですけど、そこでいう0歳児が13人。あ、ごめんなさい、今の話だと3歳～6歳なんでその年齢をちょっとお伝えして、でも長い目で見ると今のその

数字も絡んでくるので。0歳児が13人、1歳児が7人、2歳児が12人、3歳児が12人、4歳児が11人、5歳児が19人、合計で74人です。この数値が令和2年4月2日から令和8年4月2日生まれの児童の数なんですけど74人で、これから生まれてくる子とかもなんとなく想像していただいたうえで三千何百万円とを検討していただくといいかなと思うんですけど。

■副会長： 74名って西伊豆町の絶対数ですよ。

■萩原： そうですね、0～5歳児の。

■副会長： そうですよ、0～5歳児の絶対数。

■萩原： でもこの70何人は0・1・2も含んでいるので。単純に3歳～5歳まで見ると50人ぐらいです。あと、このタイミングで皆さんにご意見を伺うのが来年度の当初予算を要求するタイミングがそろそろです。10月下旬ごろから11月中旬か少し後ろのところで役場の担当課としては、これをやりたいから予算をくださいというのをやっていきますので、そこに計上するかどうかということを含めての今日お伺いしているところですよ。

■副会長： 私たち、子ども子育て委員の意見がそこに反映されるということですよ。

■町長： いらないと言え、こっちは仕事をしなくても済むので。

■副会長： 他の方法もあるかも知れない。

■町長： じゃあ、逆に他の方法だとこっちが限界があるんでこっちで考えてくださいとしか言えない。僕らとしては（案）を出しましたという話だから、じゃあ何が必要なんだという。水道付けて何を付けてとやるとたぶん全部で6,000万円超になります。それを分かって遊具が欲しいと言って来るのであれば、しょうがないねと僕は今思っているけど、そこまでかけるんだったらいらないよという「子ども子育て会議」の結果が出るんだったら、だそうなんですというだけの話なので。だから皆さんは、やってほしい、これは欲しいは言うけどお金の計算は絶対せずに皆さんは言っているんで、今回は金額も言うべきでしょと言って担当に言ってますけれども。早々に。

■副会長： ちょっと難しいところもあるとは思いますが、花田さんがおっしゃっているのは、園がそちらにできる予定なのでその遊具は…

■〇〇委員： 予定になっていて、そこに園庭置くスペースがないので、こっちにじゃあ建てましたというんだったら皆さん納得すると思うんですけど、そこがまだ決まっていない時点で、このタイミングでじゃあ作りましょうと言ったら、みんな同じことを思うんじゃないのかなと思って。保育園作るんじゃないの？なんで？ってなるんじゃないかなと。仁科の方はいいかも知れないですけど、ならないのかな？というふうに思います。

- 副会長： 委員としても、金額が金額なので、はい、お願いしますと簡単には言えない。当初予算を〇〇〇〇（聞き取り不可）。ここで決めてほしいところはどの辺ですか。
- 町長： なので、副会長が話をまとめてください。そのための副会長ですから。
- 副会長： まとめるという意見を教育委員会から聞いてませんが、皆さんのご意見を聞いてという話でしたので、ここで結論を出せとは思ってはいなかったんですけど、どうでしょうか。今、花田さんが言ってくださったここどうなのかなという不安がありますけど、他の方は。園はどうですか。
- 山本園長： お母さんたちが欲しいっていうふうなことを言ってきたわけで、教育委員会はものすごく資料も園から借りて集めてここまで出してくれたので、そこはやっぱりお母さんたちが自分たちが欲しいって言ったものであるならば、ちゃんと答えを出していただきたいなというふうに思います。
- 副会長： 前回の時に遊具をという話も出ましたが、この遊具をとって出されてしまうと、今、山本さんもえっ！？、自分の考えはこういうのじゃなかったのかなっていう思いも今あったと思うんですね。なかなかこれ、判断も難しいんですよ。この遊具だったらいい、この遊具だったらダメというわけではないと思いますけど、そのところの判断の仕方はやっぱり保護者がずっと年齢の保護者じゃなく、子どもたちはもう上に行ってもう3歳～6歳の子どもたちがもう自分たちはちょっとっていうところもあるかも知れないので、そのところで保護者が結論を。ましてやこの4人で結論出してくださいはいちょっと厳しいのかなと私は思いますけど。例えば保護者会で、じゃあ、みんなでこういう話が出ているんだけど皆さんどうですかって参考意見を聞くことも1つだと思います。ここでこの遊具どうですかと言われても、はい、そうですとは言えないんじゃないのかな。私が勝手に思って。
- 〇〇委員： ここまで大きいと金額も金額なんでいらない。でも、ブランコとかそういうちょっとしたのは欲しい。今、大浜のブランコも使えない。あと小学校にブランコはあるので別にいいんですけど。ここまで規模が大きいと…。
- 町長： そうすると、何が欲しいのって話になってきて、仁科は園に行けばあるじゃんって。
- 〇〇委員： あります、あります。
- 町長： だから、無い物を造らなかったらあるものを何個も何個もやっても意味がない。
- 萩原： 仁科のこども園で遊んだ場合は、トイレも手洗いも使えるという？
- 山本園長： いや、トイレは使えないです。でも手洗いは使えます。水道があるの

で。

■副会長： 仁小のトイレは使えないんですよ。手洗いのみ。でも、子どもたちは遊具じゃなくてもね、そのままサッカーとかね。そんなので遊んでますよね。

■町長： ということは、結論はいらないってことですよね。

■副会長： ここで結論出しちゃってということ…。

■町長： だって、サッカーは小学校のグラウンドで遊べるでしょ。

■萩原： 念のため、議事録が出ると言ってますけど、載せるときには委員さんのお名前は個別に出してないので、〇〇委員さんという感じの意見なので、ちょっとそういうのを気にして発言を控えられているようだったら。

■花田委員： いや、していないです。

■萩原： よろしいですか？

■副会長： ここで結論を出した方がいいですか。

■萩原： そうですね。そうしないと予算を計上するかしないかがあるので。

■副会長： とりあえず委員さんたちもいらっしゃるので、採決とりますか。

■萩原： そうですね。必要か不要か。

■副会長： この予算というか、この予定の遊具をやっぱり導入してください。いいですよみたいな採決でいいですか。

■萩原： そうですね。設置するかしないか。

■副会長： じゃあ、いろんなことを踏まえて委員さんで難しいと思いますけど採決に移ってよろしいでしょうか。

■萩原： いいですか。意見交換をもっとしなくて。もういいですか。

■〇〇委員： この間、子ども議会をやったんですよ。その中で子どもたちもなんか遊具が欲しいっていうのがあったんですよ。どういう子どもたちは遊具が欲しいとあの時は言ってたんですか。こんな遊具がほしいとか。

■町長： いや、子どもたちは言わないよ。別に何ということとは子どもは言えないんじゃない。何があるかも分からないだろうし。

■山本園長： 小学生ですよ。

■副会長： 子ども議会は小学生が中心ですよ。

■〇〇委員： 今はあくまでも3歳～6歳児…

■町長： いや、この大きさがね。逆に6歳～12歳のをやったら、赤ちゃんとか連れてきた人は遊べないでしょう。だからそういった意味で合わせているだけの話で。かといって、これに小学校3年生がすべっていたら誰か注意するわけでもないの。体のでかい子が来たら、お前ちょっとサイズ合わないよとは思うけど。

■〇〇委員： みんな思わないのかなって思うんです。

■町長： 保育園に遊具が設置されるという可能性は0かもしれないですからね。

■〇〇委員： そそそそ、0だったら仕方ないなって。

■町 長： 3年後の話ですよ。

■〇〇委員： いや、私はだから保育園 10 年ぐらいかかるのかなとかと思いながら前回のを読んで。

■町 長： そこから設置するとたぶんこれ、今のやればと言っている所には今から5年か6年先ですからね。

■〇〇委員： そうですね。

■町 長： そうすると今の子どもたちは使わないよねという話で、また子どもが少なくなるので、子どもが少ないのに遊具なんかいらないだろと言われると、もっと作れなくなりますからね。たぶん、今がラストチャンスぐらいですよ。

■〇〇委員： えー！

■〇〇委員： 保育園が建つのは決まったの？

■〇〇委員： 決まってないんです。

■〇〇委員： 候補地だけ。

■副 会 長： 遊具も設置しないかも知れないというのはもう決まってるってことですか。

■町 長： 決まってないですよ。でも設置することも決まってないですよ。そもそも園庭があるのかも分からないですからね。だってスペース的にどこか分からないから。

■副 会 長： それでもそこに建てましょうか（聞き取り不可）。

■町 長： 現状としては、西中の跡地に幼保・電算・防災機能複合を含めた施設を建てていいか、このまま進めていいかを今、文教施設等整備委員会に諮っています。これが年度内にたぶん結論が出ます。そうすると、じゃあどの規模のものを作るのかという議論がこちらの部局内で始まって、じゃあ体育館はどうするかとか、建物の高さは何階建てにするのか、園はどこに入れるのかっていう話にはなってくるんだけど、たぶんグラウンドを使うためには仁小のグラウンドを使わなければいけないので、1年間ぐらいたぶん校舎を壊す時間が必要ですよとかいうと、グラウンドは確保できません期間が1年あるかもねみたいな話もしなきゃいけないし、建てる場所によってはたぶん空きスペースは神社・お寺側なんです。神社・お寺側ってレッドの可能性のあるスペースなので、ここには園庭は不適だよねって言われれば園庭は作れないんです、という話にならざるを得ないんですよ。そうすると、園庭存在しない可能性も僕はあると思う。だから使ったとしても下の空間はピロティですよ。ほぼすべて駐車場で使う。用地的に無駄なスペースとかという議論になっていくと園庭無いですもんね。

■〇〇委員： 前もそうでしたよね。中学校を壊した跡地に何かを作ろう…

■町 長： そ、前の時はね、でもそれでもお寺の檀家さん家の方に高台を 3.5m

ぐらいアップさせて、そこに園庭・園舎という案があったんですよ。ただ、その盛土が今できない状態になっちゃってるんで、結局盛れないんだったら園庭を作らない方がって話になるとできないよねっていう。だから、いろんなことを想定すると園庭がない可能性の方が僕は高いと個人的には思ってるけど。

■副 会 長：　なんか余計難しくなったね、そうなる。基本的に遊具を作るためのさっきの 10 のディノワールドの遊具のアピールポイントはここだと思うんですけど、でもこれって本来ならこの遊具でこれができるよというのはジャクエツさんのお考えで、基本的なこういう子どもの 3 歳～6 歳までの運動能力というのは、園は園で考えなければならぬことで、園庭がじゃあ無くなれば、無い園であればじゃあそれをどうしていいとか、また園でも考えていただくことになるんじゃないかな。だから、そのところを考えてしまうと、園庭に遊具が無いって思うこともあるかも知れませんが。維持管理も、維持管理費これ、三千何百万でできました。良かったねというのは、もうずっと付いて回ることなので維持管理費、だからそこもやっぱりそこも考慮の 1 つには入れなければいけないことだと思うんですね。3,000 万でできました、良かったねだけではないので。それは保護者と私たちが考えることではなくて、町で予算を組んでいただいて考えることだと思います。じゃあ、質問もう無いですか。もう決めていいですか。今、うなずいてくださったのもう決まったかな、いいですか。採決として。それでは、遊具について、やはり設置した方がいいと思う方、挙手してください。はい、じゃあ、無いってことは設置しなくてもいいと思われている方、挙手してください。1, 2, 3, 4, 5, 6、社協の方はちょっと考えている（不要へ挙手 7 人）。ただ、子ども子育て会議でするので決めちゃっていいのかなって。ごめんなさい、今日の司会をしながら思っていますけれども 1 つの意見として、子ども子育て会議ではこういうふうに決まりましたということで、よろしいでしょうか。はい、じゃあ、色々考えていただいてありがとうございます。多数決でこの遊具は「無し」でいいのではという意見がまとまりましたので、次に進ませていただきます。議題 3 その他について。事務局から何かありますか。その他について他に委員の方から何かありますでしょうか。事務局はその他についてはありません？

■萩 原：　はい、ありません。

■副 会 長：　今日の議題について、色々協力いただいてありがとうございます。最後にオブザーバーに来てくださった町長さん、全体的に何かご意見とか何かありますか。

■町 長：　いやいや、特に無いですよ。

■副 会 長：　じゃ、ありがとうございました。事務局へお返しいたします。

■事務局長： はい、閉会に移りたいと思います。皆様、慎重にご審議いただきましてありがとうございました。今年度の会議は、今回で終了となります。委員の皆様の任期につきましては3月末までとなっておりますが、可能であれば次の任期も引き続きお願いできればなというふうに事務局では考えております。この場ですぐお返事をいただくということは難しいと思いますので、改めてまた担当の方から新年度ご連絡いただくようなかたちになると思いますので、よろしくお願いします。今日は、山本副会長、議事進行ありがとうございました。これで、第2回子ども子育て会議を終了いたします。皆様、お疲れさまでした。

以上、議題終了